



おおさき町

農業委員会だより

豊かな自然が宝物 みんなで紡ぐ結いのまち
—みんなが主役 新たな時代を開くゆめづくり—

No. 35

令和2年2月14日
●発行 大崎町農業委員会
●編集 広報編集委員会
〒899-7305
鹿児島県曾於郡大崎町
假宿 1029 番地
電話 099(476)1111
内線 531・532



(畑一面満開のそば花)

目次

研修報告.....	P 2
お願い及びお知らせ.....	P 3
あいさつ及び編集後記.....	P 4



農業委員会HP案内

年頭のあいさつ



農業委員会会長
橋口 貞夫
(地応寺)

皆様には、ご家族おそろいで新たな輝かしい年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。振り返りますと、昨年は日本各地で台風、長雨等による災害が数多く発生いたしました。人命・家屋・農作物に甚大な被害をもたらしました。今年には災害のない年であればと願うばかりです。さて、昨年も農業委員会の活動の一環として、様々な活動をいたしました。中でも国が重要政策と位置づけております、農地利用の最適化業務があります。担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等です。

このような多岐に渡る業務を遂行していくためには「人・農地プランの実質化」という未来の地域農業を地域の皆さんで話し合う事が重要だと言われております。その様な場に農業委員・推進委員、参加してまいります。今年には3年に1回の農業委員・推進委員、共に改選の年になります。意欲のある方は、是非応募くださいますようお願いいたします。

皆様方におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと、心よりお慶び申し上げます。さて、大崎町農業者年金受給者会は、昨年度で第39回を迎えることが出来ました。これもひとえに、受給者会の会員、歴代役員の方々のこれまでの功績の賜物だと深く感謝しております。

今年新たに、農業者年金「加入者累計13万人早期達成3カ年運動」を決議し、今後も加入推進に向けた一層の努力をしてまいります。農業者年金は、老後の



町受給者会会長
北村 寅男
(東中組)

農業者年金受給者会からのあいさつ
しっかり積み立て！
安いで豊かな老後を！



◆編集後記

第35号の農業委員会だよりをお届けします。発行にあたり取材協力をいただいた皆様には心よりお礼申し上げます。広報委員会では、今後も経営に役立つ情報提供をしてまいりますのでご意見・ご要望をお寄せください。

広報委員
佐藤一成 前田房子
豊住秀史 東 義治
田中博昭 有村とみ子

～全国農業新聞～

全国農業新聞は、みなさまの立場に立って、中央・地方の情勢、営農や暮らしの情報を提供しています。お申し込みは、お近くの農業委員または農業委員会までご連絡ください。
発行日：毎週金曜日
購読料：1ヵ月 700円



先進地研修報告

1日目 日置市農業委員会
2日目 鹿児島県農業会議

農業委員 佐藤 一成

去る、11月12日から13日にかけて、研修に出席して来ました。

日置市は平成17年に東市来町・伊集院町・日吉町・吹上町の4町が合併して誕生し、市内にはJR駅が3つあり、うち伊集院駅は1日の乗降客が5千人で、県内第5位の駅のある市です。

日本三大砂丘、吹上浜を有し、湯之元・吹上の温泉もあり自然に恵まれた土地を利用し、平成24年5月「オリブの6次産業化」に着手し、栽培・生産は日置市、加工・販売は鹿児島銀行と野村証券グループが担い、新規作物に取組



んでいます。

栽培目標を面積50ha、栽培本数2万本で平成30年度の実績で延べ5,018本を栽培し、今後も農業者に年1回オリブの6次産業化に向けた説明会を実施していくとのこと。

また、平成30年度のオリブオイルの販売実績は4,196本を製造し完売したそうです。

農地面積は3,240haで農業委員19名、推進委員14名で構成されています。農業従事者の高齢化等により耕作放棄地は拡大し、農業従事者のうち60歳以上の占める割合は82・5%で農業者及び営農組織等の育成が急務となっています。

遊休農地解消対策は、農業委員、推進委員が協力体制でパトロールし、日置市遊休農地解消補助金を活用し減少傾向でした。

また、翌日は鹿児島県農業会議の講義を受け、農業委員として農地利用最適化の活動についての基本を学びました。今回の研修を受け、将来を考えた農地対策を目標に農業委員として職務を行います。

九州・沖縄ブロック農業委員会・女性委員研修会の参加を通して

農業委員 二見さち子

9月11・12日にかけて、マリンパレスかごしまにおいて、鹿児島県で10年ぶりに開催されました。

沖縄・九州各県の女性農業委員・女性推進委員総数321名が参加されました。

農地利用最適化の推進と女性農業委員の役割について、各県の農業委員会における事例発表を通して、質疑応答などが行われ有意義な時間となりました。

情報交換会の中では、各県の方々と意見交換をし、女性農業委員としての役割と責任を持って活動している話を聴き、またその活動に自信を持って話される姿に深く共感しました。

女性が、家庭・育児・農業の仕事しながら、女性農業委員として活動することは決して容易なことではありません。しかし、配偶者や家族の理解と協力を得ることで女性農業委員として役割を果たすことはできます。

大崎町にも、大崎農業女性の会



農業委員会からのお願い

● 農地の耕作者の方へ

※農地の管理は適正に！！（畦道の除草管理などを適時行いましょう。）
※畦道より刈り取った草などをきちんと処分しましょう。また、除草剤を使用する場合は近隣耕作者等へ話をし了解を得た上で、管理上必要な分だけ散布しましょう。

● 農地を相続されたら手続きを

※農地を相続されたら、農業委員会へ届けが必要となります。

● 農地を転用（農地以外の地目へ変更）される方へ

※農地を農地以外の地目へ転用される方は、農地法第4条・第5条の、農業委員会の許可が必要となります。許可を受けずに転用した場合は、違反転用となりますのでご注意ください。

人・農地プラン推進大会が大崎で開催

去る、10月9日、鹿児島県、人・農地プラン推進大会があすばる大崎で開催されました。

この大会には、大隅半島4市5町から、農業委員・最適化推進委員、来賓や関係者を含め、約180名の参加がありました。

大会では、今後の農業に関する問題点等が提議され、そのなかで地域の方々の意向を把握することが今後の課題であり、必要なことなどの意見が出されました。



垂水市受給者会が視察訪問



去る、11月26日、垂水市農業者年金受給者会の役員及び事務局の方が、本町の加入推進の取り組みについて研修にられました。

本年度、本町が加入実績で鹿児島県の表彰を受けたこともあり来られたものです。垂水市はここ数年新規加入率が伸び悩んでいるという事で、本町の取り組みについて視察にられました。

新規加入者実績で県表彰

去る、10月1日、鹿児島県農業者年金加入推進特別研修会に先立ち、新規加入部門と20歳～39歳までの部門におきまして、第2位と第4位の表彰を受けました。

これもひとえに、受給者会役員、農業委員の日頃のたゆまぬ戸別訪問等の賜ではないかと考えます。

また、今後も加入推進に一生懸命取り組んでまいります。



農業者年金に入りませんか!!

【農業者年金は次の要件を満たせば誰でも加入できます】

- 国民年金第1号被保険者
- 年間60日以上農業に従事
- 60歳未満